

研究課題名	二次医療機関および三次医療機関での COVID-19 が感染症診療および感染制御に与える影響に関する大阪公立大学を中心とした多施設共同研究
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学教室)が中心となって行う研究です。下記施設での血液培養陽性症例数や抗菌薬の使用量、耐性菌の検出状況を新型コロナウイルスの出現前と出現後の期間で比較することにより、COVID-19 が感染症診療や感染制御にどのような影響を及ぼしているのかを調査します。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後～2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年4月から2022年3月までの期間に下記の研究機関で、血液培養陽性となった方、耐性菌が検出された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報： ・血液培養が陽性となった方の14日、28日、30日転帰やご年齢、性別、入院された診療科、もともとのご病気、診療情報 ・耐性菌の検出された方のご年齢、性別、入院された診療科、もともとのご病気
試料・情報の他機関への提供	この研究は他施設からの情報を大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学教室)で受け取り、分析をおこないます。その情報を他施設へ提供することはありません。
この研究を行っている共同研究機関	・大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科(大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学教室) 研究責任者：掛屋 弘 ・淀川キリスト教病院 研究責任者：吉井 直子 ・大阪警察病院 研究責任者：水谷 哲 ・ベルランド総合病院 研究責任者：桑原 学 ・大阪急性期・総合医療センター 研究責任者：大場 雄一郎
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 研究代表者:掛屋 弘
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学(大阪公立大学医学部附属病院 感染症内科) (担当者氏名) 覺野 重毅 電話番号：(06) 6645-3784 メールアドレス：d21mb013@st.omu.ac.jp